

市民へのメッセージ

須賀川医師会 会長 國分 啓二

長期にわたる新型コロナウイルス感染症により日常生活や経済活動に影響が続いていますが、感染症対策の原点に立ち返り冷静に行動しましょう。

感染症対策の原則は、早期発見、早期治療（治療法が確立されていない場合は早期隔離）です。そしてワクチンによる予防です。

今回の新型コロナの主な特徴は、

- 1) 無症状ないし軽症のウィルス保有者が多い。
- 2) 症状がでる2, 3日前からウィルスがたくさん出て感染させる可能性がある。ウィルスの伝播様式としては飛沫感染が主体と考えられる。
- 3) 軽症でも数日たつと急に容体が悪化することがある。
- 4) 高齢者や基礎疾患（糖尿病、心臓病など）を持つ人は重症化率が高い。
- 5) 回復しても後遺症が残ることがある。

市内の医療機関（診療所、病院）は、感染対策を徹底して診療をしています。体調がすぐれない時は、まずかかりつけ医へ電話連絡をして指示を仰いで下さい。かかりつけ医がいない時は、受診・相談センターへ連絡をして下さい。

市内の検査体制として須賀川市地域外来と診療・検査に対応した医療機関がありPCR検査を行っています。ただし検査結果には、疑陰性や疑陽性があることに注意しましょう。また微熱などの症状が続く場合は、仕事を休み体調確認を行い変化があればかかりつけ医へ連絡をしましょう。

県内の感染状況から医療提供体制（入院ベッド、重症者対応病院）の逼迫が懸念されます。一人一人が感染対策の再確認とその徹底を行い、感染しない、感染を広げないという意識を強くもち行動しましょう。

将来を背負う子供たちは、感染予防に日々健気に取り組んでいます。

もうすぐワクチン接種が始まります。その効果に期待しましょう。